

# 令和6年度 長崎市立稻佐小 学校教育目標及び教育方針

R7.1.8

学校教育目標「たくましく未来を切り拓く子どもの育成」  
合言葉は「なりたい自分になる」

令和を生きる子どもたちのニーズを捉えた「学びへの転換」 【時代の要請・経営の重点】	目指す児童像	目指す学校像	目指す教職員像
	〇いっぱい学ぶ子 「学力グングン」 学力向上プラン（校内研修） 〇子どもに委ねる授業推進 〇教科担任制の推進 〇特別活動を要とした実践 〇GIGAスクール構想の推進	〇学力を 保障する学校 の充実 ※1 ●自己選択・自己決定による自律的な学び 1～2割 ●教材研究の充実 ●フロア・学年の児童理解促進 ●いなさの学び（しゃべり場等）の継続 ●Qubenaで授業改善 ●デジタルシチズンシップ教育	〇学び続ける 教職員 〇一人一人を大切にする厳しく優しい教職員
特別支援教育の充実	〇なかよく 協力する子 「心ホカホカ」 特別支援教育の推進 ※1 〇違いを認めあえる学級 生徒指導の徹底 ※1 ●生活集会（月目標等） ●いなさの一日【改訂版】 道徳教育・図書活動・平和教育・国際理解教育・人権教育の充実	〇心を育てる学校 ●場と時間の構造化 ●行動の原則 ●共通理解事項 ●生活集会（月目標等） ●いなさの一日【改訂版】 道徳教育・図書活動・平和教育・国際理解教育・人権教育の充実	〇一人一人を大切にする厳しく優しい教職員
不登校 の創造	〇さいごまで やり抜く子 「元気モリモリ」 健康教育・給食・体育の充実  不登校（傾向）対策の推進 〇SSR（スシャルサポートルーム）の充実	〇体を鍛える学校 ●ねばり強い学び ●習慣の継続 ●行事での役割 ●あはは運動 ●3つの約束（挨拶・履物揃え・はさみ歩き）  〇地域とともに 輝く学校 ●別室登校支援員の活躍 ●開かれた学校（デジタルサクセス・通信・自治会等連携）	〇自主的・協力的に創造、実践する教職員  ●欠席対応（3日・5日）

※1 各校務分掌チームで共通実践計画を作成し、提案・実践・見直しサイクルにより、凡事徹底を図る。

## 教職員の働き方（働き甲斐）改革

- 〇何をするかより、誰とするか（一人一人をリスペクトできる組織）
- 〇業務改善の推進（校務DXの積極導入・「この指とまれ」方式の研修・少しの工夫の積重ね）
- 〇1日の仕事に対する見通し（帰宅時間宣言→退勤ボードの徹底）
- 〇ワーク・ライフ・バランス（私生活の充実）

# 令和6年度 長崎市立稻佐小 3学期の重点

学校教育目標「たくましく未来を切り拓く子どもの育成」をめざし  
**学びの多様化に応える学級（安心）をつくる**

## い いっぱい学ぶ子

### まずは、「子どもに委ねる授業」の1割達成

※見たい姿は、

教師は、確かな教材研究の基、適切な環境調整を図る。

子どもは、自己選択・自己決定により、ねばり強く自ら学ぶ。

（自由進度学習は有効な1方策。残り50日試行錯誤、創意工夫）

## な かよく協力する子

### 教室環境の整備と通常授業での実践で安心空間

※見たい姿は、

教師は、爽やかな環境を維持し、常にはめるチャンスをうかがう。

子どもは、級友との違いを受け止め、苦手を互いにフォローする。

（「い」の授業スタイルを活用し、子ども同士の対話を大切に）

## さ いごまでやり抜く子

### 教師課題 + $\alpha$ で選択・決定の機会を創出

※見たい姿は、

教師は、子どもが自力完遂するために必要な支援を工夫する。

子どもは、自分で考え、計画したことを最後までやりぬく。

（「い」の授業スタイルを活用し、「ふりかえり」を大切に）

